



生涯学習にいがた

No. 72 平成20年7月14日

家庭教育支援事業の企画力向上セミナー

『思いっきり家庭教育支援』

今年度の家庭教育支援事業の企画力向上セミナーは、6月30日・7月1日の2日間にわたり、実際に講座を運営するときのワークショップの手法について研修を行いました。講師は、新潟県初登場の香川大学生涯学習教育研究センター所長・香川大学教授 清國祐二氏です。概要は、以下の通りです。



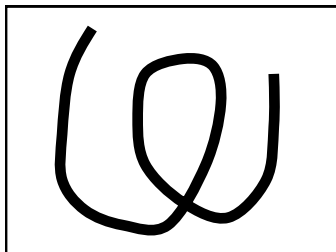
1 参加型学習のルールとは・・・

- ・積極的な姿勢で参加しよう。(積極的な傾聴や受容もOK)
- ・豊かな人権感覚を持って参加しよう。(プライベートな内容に留意)
- ・みんなが参加するという意識を持とう。(しゃべってばかりはNG)

2 アイスブレイキングいろいろ

正面切っでの自己紹介より、目を合わせずできる関係作りをしましょう。信頼関係を作るもとなります。

(例) 下の絵は何に見えますか?
(一人で、グループで、考えてみましょう)



3 ラベルワーク・ランキングで課題作り

個人の考えを記入したラベルをグループで分けて、イメージ(絵)で表してみました。



4 家庭教育支援で使えるアクティビティのいろいろ

- ① ○×クイズ
クイズを解き、その答えから話題を引き出します。
- ② BINGO
家庭教育支援に関連する言葉群から自分がキーワードになる言葉を選びビンゴゲームをし、話を深めます。選んだ言葉によって、人的、物的、環境的・・・などその考え方の傾向も分かり、話が深まります。
- ③ 4つのコーナー
1つの質問を、「とても思う」「まあ思う」「そうは思わない」「全く思わない」の4つに別れ、その理由をインタビュー形式で聞きます。立場の違う考えを聞くことによって、自分の考えがより明確になり深まります。4つの立場に分かれるように質問内容がGoodです。



どの手法もすぐに講座で使えるものばかり！ 参加者からぜひ使ってみたくて好評でした。

「生涯学習・社会教育事業への挑戦 ～はじめの一歩から～」

生涯学習推進のために必要な基礎的・基本的事項について研修を深め、社会教育関係職員等の資質向上を図ることを目的に、5月29・30日の2日間にわたり、「基礎研修会」を実施しました。市町村の新任生涯学習・社会教育関係職員等約40名を対象に「現場で役立つ研修」を第一に考え、「事業の企画及びプログラム作成」を中心に実施しました。1日目に行われた体験発表及び講義の概要は以下の通りです。

【体験発表】「1年目の起努哀楽(きどあいらく)」

三条市市民部生涯学習課 主事 武藤弓子氏

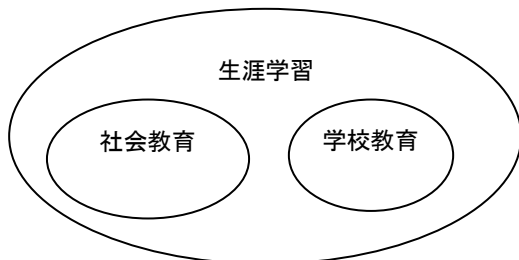
自分の資質を高め、よりよい仕事を行うためには、

- ①様々な講座や研修会に積極的に参加すること
- ②そこで得たものを実践してみること
- ③受講者アンケート等事業評価を生かし、
次にはよりよいものにする

【講義1】「生涯学習社会における社会教育の役割」

新潟市立万代長嶺小学校長 真柄正幸氏

- ①どの立場に立って生涯学習を行うのか？
職員の立場か？
住民の立場か？
両方の立場か？
・・・ 見方を変えることが大切
- ②生涯学習・社会教育・学校教育の関係
社会教育と学校教育は別のもの
しかし、生涯学習は社会教育・学校教育及びそれ以外の(例えば教育委員会以外の部局が行う)教育活動全体を包括するもの。



※ 生涯学習と社会教育の違い

③今後の法改正に伴う社会教育行政の展望

生涯学習社会構築に向けての中核的な役割が社会教育行政に求められる。

学校・首長部局・民間等との幅広い連携の下に、学習活動の支援に努めなければならない。

学校の教育活動を妨げない範囲で、学校教育の施設や現場に社会教育が入って活動するというプログラムの作成が求められる。

社会教育行政担当者は、視点を変え、広い視野を持って取り組むことが求められる。



講師の真柄正幸氏

【講義2・演習】

「事業の企画及びプログラム作成の
視点と手順を収得しよう」

新潟市立万代長嶺小学校長 真柄正幸氏

事業計画は事業評価をしっかり位置づけ、
「誰のために、何のために」
「どのような内容を、どのように組み立て」
「どのように実施していくか」
を示すことが大切である。

事業計画は学習の質を高めるために作成されるべきである。



2日目は事業の企画及びプログラムの作成演習を実施

※ 第2回は11月20日(木)に実施の予定です。

「にいがた連携公開講座2008」がスタート

「にいがた連携公開講座2008」は、新潟県教育委員会と県内の大学や市町村などが連携して、県民の皆様にとって身近でかつ地域ニーズに対応したテーマで開催する公開講座です。本年度は7講座を開催します。

	期 日	演 題	講 師	上段:主会場 下段:受信会場
1	6/28 (土)	「まちづくり」を考える ～住んでよし、訪れてよしの地域のために～	新潟産業大学人文学部 教授 梅澤 精	主:村上市さんぼく会館
2	7/8 (火)	「困った人たちとの付き合い方」 ～職場・学校・近隣のトラブルメイカーと共に～	新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史	主:新発田市加治川地区公民館 受:新潟県立生涯学習推進センター
3	8/28 (木)	「河井継之助」を知る	河井継之助記念館 館長 稲川 明雄	主:刈羽村生涯学習センター「ラピカ」 受:新潟県立生涯学習推進センター
4	9/6 (土)	もし裁判員になったら	新潟大学法科大学院 教授 鯨越 溢弘	主:村上市教育情報センター 受:新潟県立生涯学習推進センター
5	10/18 (土)	地球温暖化と新潟県の雪環境	新潟大学災害復興科学センター 准教授 河島 克久	主:長岡市小国商工物産館 受:新潟県立生涯学習推進センター
6	11/23 (日)	江戸時代の旅と越後の観光名所	新潟県立歴史博物館学芸課 主任研究員 渡部 浩二	主:新潟県立歴史博物館 受:新発田市加治川地区公民館 受:新潟県立生涯学習推進センター
7	12/10 (水)	古文書に見る人々の名前の変遷	新潟県立文書館 副館長 本井 晴信	主:新潟県立生涯学習推進センター

7講座とも、開講時間は13:30～15:00、受講料無料です。いきいき県民カレッジの登録講座です。

PTA活動と家庭・地域・学校との連携を探る ～親としてできることからやればいいんだ！～

去る6月17日(火)、上越市頸城区「ユートピアくびき希望館」において、上越地区小・中・特別支援学校PTA指導者研修会を行いました。上越管内より、教職員及び保護者182名が参加しました。本研修会のテーマは「主体的に学び行動するPTAをめざして」ですが、今年度は「家庭・地域・学校の連携を深めるPTA活動の推進」を副題として実施しました。

前半の講話では、研修テーマにふさわしい講師として、新発田市子育てサークル「パパコポの会」代表の大山正義様からお話していただきました。演題は「一つの言葉、一つの行いが地域と学校を変える～親が子どものためにできることをしよう！～」です。「私は学者ではなく、ただの実践者です」で始まった大山様の講話からは、「一人の親として、できることからやってみましょう」というメッセージが強く伝わってきました。「親も楽しく、子どもも楽しく」をモットーにした数々の実践に裏打ちされたお話は、各学校の今後のPTA活動に大きな示唆を与えるものでした。

後半は「子どもたちとメディア」「子どもたちと高齢者のふれあい」「子どもたちの居場所づくり」の3つのテーマに分

かれ、分科会協議を行いました。携帯電話にかかわる様々な問題やテレビ視聴のあり方、お年寄りとの交流や3世代家族の話題、放課後児童クラブなどの安全・安心な居場所づくりの現状など、時間の経つのも忘れて話が弾みました。どの参加者も、いろいろな学校や地域の様子を聞くことができたり、ふだんからの疑問や悩みを話すことができたりして、有意義な時間を過ごすことができた感想を寄せてくださいました。

上越教育事務所社会教育課では、当日の分科会協議の記録やアンケートのまとめを各学校に参考資料として配布するとともに、本研修会を受けての各単位PTAの活動について事後調査を行い、事業改善に活用する予定です。



ますますオモシロク! になってきたね 映画・ビデオ鑑賞会

じっくりと落ち着いて映像を楽しみたい、名作を鑑賞したい…。その学びに応じて平成11年度から毎月1回(原則第4日曜日)開催しています。鑑賞会の企画・運営は映画ボランティアの会(会員14名)が担当しています。



- ◆7月27日(日) 13:00～15:00
～子どもアニメまつり～
「アルプスの少女ハイジ」1989年制作, 107分, アニメ
- ◆8月3日(日) 13:00～15:00
～タイムスリップ! にいがた 第五弾～
(平成4年8月の開館を記念して、18年度から8月と12月に開催しています。センター所蔵の貴重な映像を公開しています。)
- ◆8月24日(日) 13:00～14:30
～戦争と平和を考えるシリーズ～
「チョッチャん物語」1996年制作, 80分, アニメ

- 入場無料、申込不要、先着順(186席)
- 会場: 県立生涯学習推進センター・ホール
- 詳しくは、センターホームページをご覧ください。
(<http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/>)

※ 事情により内容を変更する場合があります。

新潟県立青少年研修センター からのお知らせ

【平成20年度8月のご案内】

県立青少年研修センターは、8月より使用を開始します。使用者の皆様には、アスベスト除去工事による使用休止で大変ご迷惑をおかけいたしました。安全に万全を期して再開いたしますので、皆様からのご使用をお待ちしております。

○問い合わせ: 県立青少年研修センター
研修課 Tel.0256-77-2111

【平成20年度9月のご案内】

「いきいき体験学」第3回 企画力向上編
○日 時: 9月20日(土)～9月21日(日)
○場 所: 新潟県立青少年研修センター
〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1
○内 容: ワークショップ等の参加体験型学習の手法を体験しながら、青少年指導者としての企画力の向上を図る。

○定 員: 30人
○対 象: 18歳以上の青年、青少年指導者等
(高校生を除く)

○費 用: 2,500円(予定)
○申込締切: 平成20年8月29日(金)
○問い合わせ: 県立青少年研修センター
研修課 Tel.0256-77-2111

さわやかメル

社会教育法・図書館法・博物館法のいわゆる社会教育3法の改正法案が、6月11日に改正されました。内容を見ますと、教育委員会の事務として家庭教育に関する情報提供や放課後における児童・生徒への学習活動に関わる事業等を追加したり、公民館・図書館及び博物館の運営状況に関する評価・改善に努めることや司書等の資格要件等に関する内容などが盛り込まれたりしています。

後期高齢者医療制度等の法案に関心が高いために、社会教育3法のことは一般の方々からあまり興味・関心がないのも現状ですが、生涯学習・社会教育行政に携わる者にとっては、大変重要なことでもあります。今、法案が改正されていく時でもあります、「砂上に楼閣は建たず」の諺のごとく、現場の状況を把握し県民の目線に立って、地に足のついた取組をしていきたいものです。

● 新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>
携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

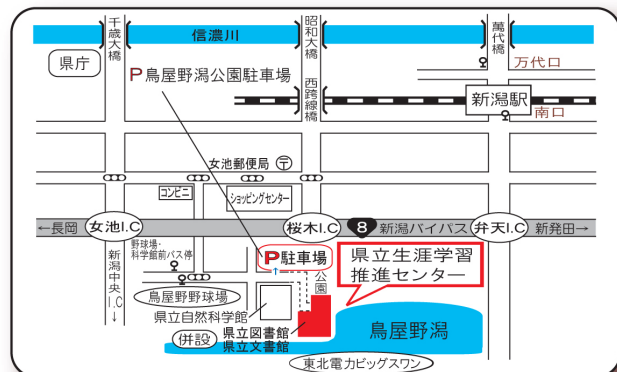


● 家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

● 生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
(URL) <http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail) nlpc@mail.lalanet.gr.jp